

矢作川自然再生事業

自然再生事業に関する地域連携 平成 26 年 ヨシ植えイベント（案）

平成 26 年 2 月 19 日

国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所

平成 26 年ヨシ植えイベント（企画案）

(1) イベント名

- 2014 ヨシ植え体験会 in 矢作川

(2) 開催日

- 平成 26 年 4 月 26 日（土） ※雨天の場合は、27 日（日）に延期
- 6.0k 左岸付近のヨシ原施工（掘削）後に実施

(3) 目的

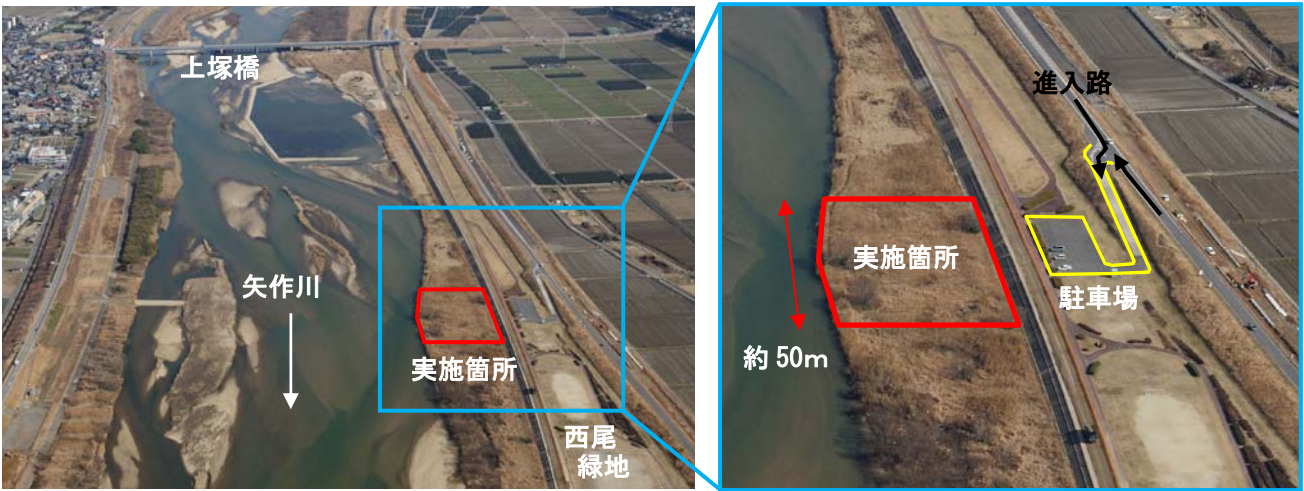
- ヨシ原施工を通じたヨシの茎植え、ポット苗の作成、生物観察を行うことで、小学生を中心とした地域住民の環境学習、自然体験の場として活用することを目的とする。
- あわせて、イベントを通じた意見交換、アンケートを実施し、矢作川（河口部）に関する思い、認識、ニーズ等を把握することで、更なる地域連携検討に資するものとする。

(4) 対象者

- 地元住民（小学生含む）

(5) 実施箇所

- 矢作川左岸 6.0k 付近（平成 25 年度施工区）



(6) 内容（プログラム）

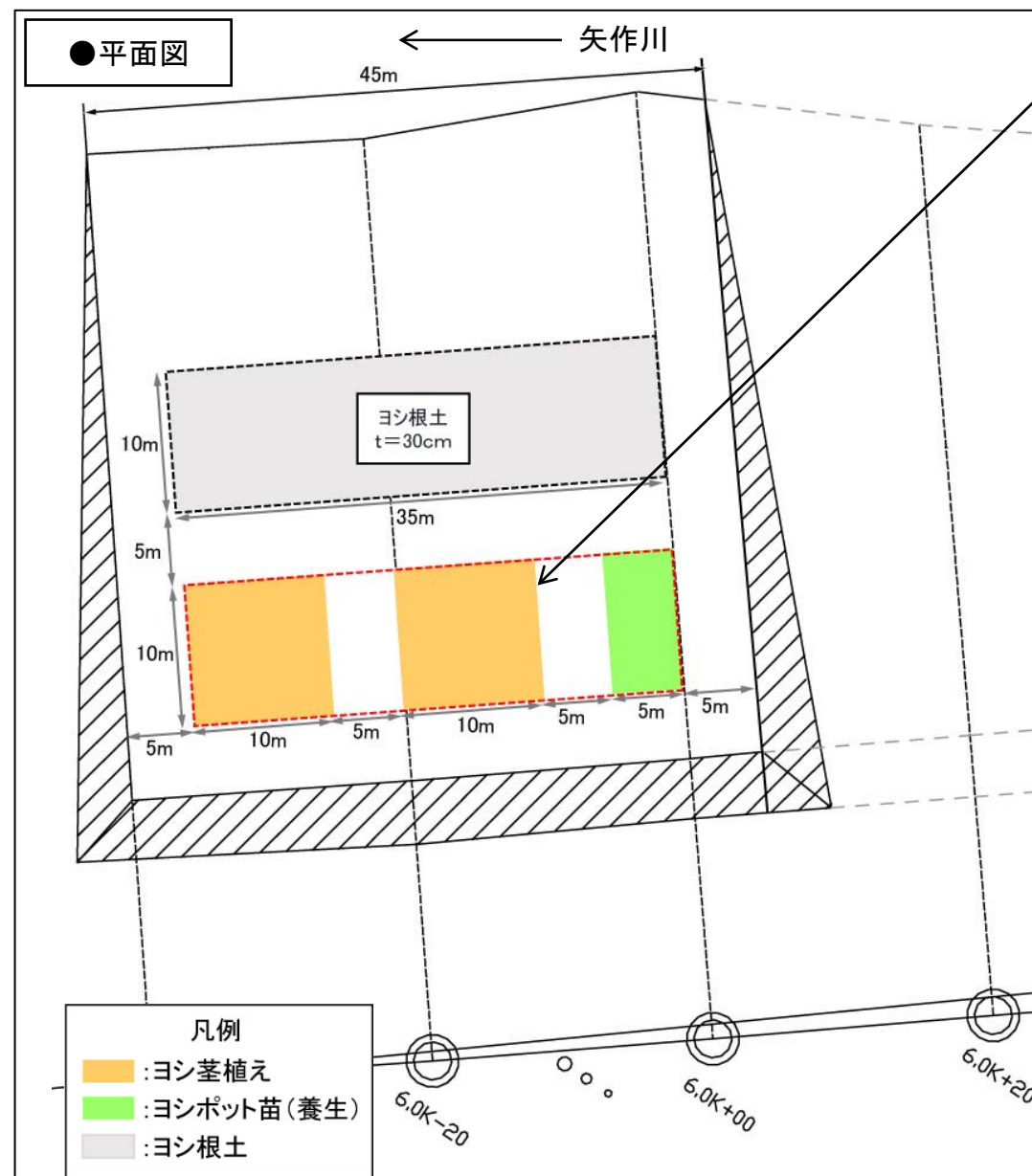
項目		実施内容
13：00	・開会	・主催者あいさつ、安全説明
13：05 (20 分)	・事前説明 ・生物観察	・矢作川自然再生事業の説明 ・本日のプログラム説明、ヨシ植え方法の説明 ・生物観察（魚、カニ類、ヨシなど）
13：25 (135 分)	・ヨシ原観察 ・ヨシ植えづくり	・再生したヨシ原施工区（下流側）の観察 ※15 分 ・ヨシ茎の採取（約 800 本） ※30 分 ・ヨシポット苗づくり（約 400 ポット） ※40 分 ・ヨシ茎植え（約 400 本） ※30 分 ※本数は、適宜見直す ※休憩は、作業状況に応じて適宜入れる（約 20 分）
15：40 (10 分)	・感想、意見 ・アンケート	・本日の感想、意見等 ・アンケートペーパー回答、回収
15：50	・閉会	・主催者あいさつ

【配布資料】 矢作川自然再生事業ヨシ植えパンフレット

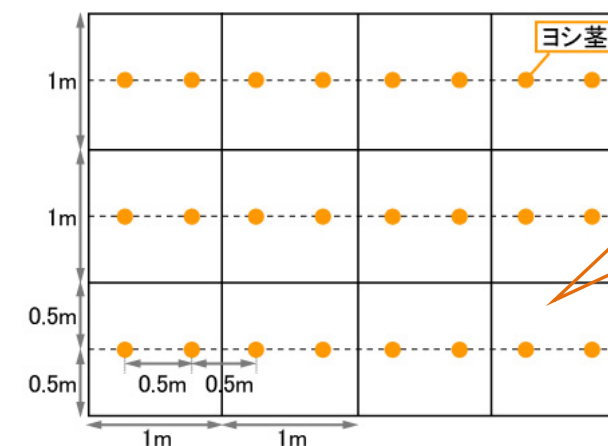
平成 26 年ヨシ植えイベント（企画案）

（7）ヨシ植え、ポット苗実施計画

- ヨシ植えイベントは、「茎植え」「ポット苗」の2項目を行う。
- ヨシを植える高さは、これまでのモニタリングにより T.P0.5m とし、水際部では出水時に流失の恐れがあるため堤防側に近い箇所で実施する（水際の15m幅は残して、自然にヨシが拡大していくことを期待する）。
- ヨシ植え範囲は、35m×10m とする。
- ヨシ茎植え数は、約 800 本とする。
（ヨシ茎植え：400 本、 ヨシポット苗づくり（養生）：400 本）



●ヨシ茎植えの実施イメージ（詳細図）



1m² あたり、
2本のヨシ茎を
0.5m 間隔で
植える。

●ヨシ茎植え、ポット苗の数量

◇ヨシ茎植え

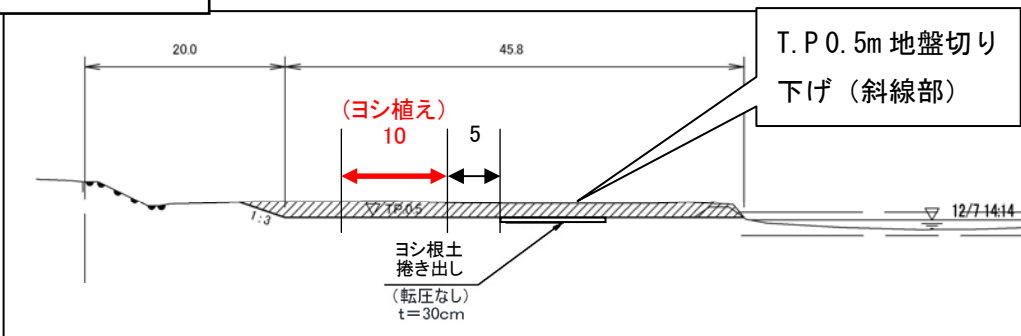
$$2 \text{ 本/m}^2 \times 100 \text{ m}^2 \times 2 \text{ 箇所} = 400 \text{ 本}$$

◇ヨシポット苗（養生）

$$1 \text{ 本/ポット} \times 400 \text{ ポット} = 400 \text{ 本}$$

合計 800 本

●横断面図



※数量や実施位置は、参加人数に応じて適宜変更する

2014 ヨシ植え体験会 in 矢作川 参加者募集!

参加者募集
(無料)

あなたもいっしょに
矢作川のヨシ原づくりに参加しよう!



平成 26 年 4 月 26 日(土)

(雨天の場合は、翌日 27 日(日)に延期)

子どもから大人まで
ご参加いただけます!
生物観察も実施します!

集合時間 : 12 時 45 分
集合場所 : 矢作川西尾緑地
グラウンド場上流側 駐車場
※詳しくは裏面をご覧ください

事務局

国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所 調査課
TEL 0532-48-8107 (課直通)
FAX 0532-48-8100 (")
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/> E-mail: toyohashi@cbr.mlit.go.jp
協賛: 矢作川流域圏懇談会 市民会議 (川・海部会)

矢作川の河口部では、かつて河岸にヨシ原が広く形成されていました。しかし近年では、河岸に水が浸かりにくくなったため、ヨシ原は少なくなりました。

ヨシ原づくりは、低くした地盤にヨシ苗を植えて、再びヨシが生育し、野鳥やカニ、小魚など、多くの水辺の生きものの棲みかとなる豊かな環境づくりを行うものです。

皆さまのご参加をお待ちしております。



開催日時

開催日時: 平成 26 年 4 月 26 日(土)
(雨天の場合は、翌日 27 日(日)に延期)

募集定員: 50 名程度
(募集定員を超えた場合には、それ以上の参加申込みをお断りする場合があります)

集合場所: 矢作川 6.0k 左岸付近
(上塚橋(県道 301 号)より約 1km 下流側
グラウンド場上流側 駐車場)

作業時間: 13 時 00 分~16 時 00 分頃迄

参加費用: 無料

持ち物: 長靴、軍手、園芸用シャベル、飲み物(水筒)
作業しやすい(汚れてもいい)服装、帽子、タオル

※貴重品の管理や体験会でのケガ等については、参加される皆様方の自己責任でお願いいたします。



お申込み方法

参加を希望される方は、下のフォームに代表者氏名・参加人数・ご住所・ご連絡先をご記入の上、豊橋河川事務所調査課まで FAX 若しくは E メール (toyohashi@cbr.mlit.go.jp) にてお申込み下さい。
小学生以下のお子様は、保護者同伴でお申込み下さい。
締切りは、平成 26 年●月●日です。

※ハガキでのお申込みも可能です(費用については自己負担にてお願い致します)。平成 26 年●月●日消印有効です。

お問合せ

ご不明点等ございましたら、こちらまでご連絡下さい。
国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所 調査課
TEL: 0532-48-8107 (課直通) FAX: 0532-48-8100 (課直通) E-mail: toyohashi@cbr.mlit.go.jp

参加お申込みは、以下をご記入下さい(氏名・住所・連絡先は代表者のみで結構です)

※雨天中止時には、前日午後 6 時頃までに連絡しますので、必ず連絡先のご記入をお願いします。

ご氏名 : _____

参加人数 : _____ 人 (大人: _____ 人、小人: _____ 人)
(小学生以下)

ご住所 : _____

ご連絡先 : _____

(当日配布用説明資料 (案))

①



②

矢作川ヨシ原づくりの目的

～ 矢作川の自然再生 ～

- ・この取り組みは、『矢作川自然再生事業』の一環として実施するものです。
- ・『矢作川自然再生事業』は、過去から現在に減少した干潟やヨシ原を再生させ、多くの水辺の生きものの棲みかとなる豊かな環境づくりを行うものです。

～ 矢作川ヨシ原づくりの位置づけ ～

●今回のヨシ植えイベントは、矢作川のヨシ原を再生・維持していくうえで、地域のみならずとも一緒に取り組んでいくため実施するものです。

今回のヨシ原づくりへの参加を通じて。。。

- ヨシ原ができることによって得られる効果を、みなさんと一緒にモニタリングしながら把握し、より親しみをもてる矢作川としていきたい。
- 地域の環境学習の場、自然観察の場などとして、矢作川を活用していただきたい。

③

ヨシとは?

- ・ヨシは、川や湖などの水の近くに生える植物で、日本全国で見られます。ヨシは土の中の地下茎(ちかけい)という根のようなものを広げて、春に芽を出して大きくなります。
- ・冬には土の上の部分は枯れますが、地下茎は大きく広がり、次の春にまた芽を出します。

ヨシは水に浸かるような環境に生育する抽水植物[※]です

地下茎の深さは地下50cm程度にあります

※抽水植物とは、比較的浅い水中に生え、根は水底の土壌中にあり、茎や葉を伸ばして水面上に出る植物。

出典: 日本の野生植物 草木(平凡社)

④

ヨシのはたらき

- ・ヨシには大きく分けると、3つの働きがあります。

①多くの生き物のすみかになります

- ・ヨシ原はオオヨシキリ、オオジュリンなどの多くの鳥のすみかとなります。オオヨシキリはヨシ原で巣をつくり、子どもを育てます。
- ・ヨシの根元には、多くのカニがすんでいます。また、水につかっている間は小魚も入ってきます。

満潮位
干潮位

⑤

ヨシのはたらき

- ・ヨシには大きく分けると、3つの働きがあります。

②水をきれいにします

- ・ヨシは水の中の養分(ようぶん)を吸い取って大きくなります。ヨシにつく藻(も)や微生物(びせいぶつ)も水の中の栄養分をとって生きています。
- ・こうして多くの栄養分を吸い取られた水はきれいになります。

③人の生活に役立ちます

- ・ヨシは、むかしからいるる家の材料(ざいりょう)に使われました。ヨシはすずしい感じがするので、夏用のついたてなどに使われています。

水中の栄養分
ヨシの根による栄養分の吸収
微生物による水中の栄養分の分解

よしず

⑥

矢作川のヨシ原

- ・矢作川のむかしの写真をみると、ヨシがたくさん集まった大きなヨシ原があちこちに見られました。しかし、近年では、河岸に水が浸かりにくくなり、そのヨシ原は少なくなりました。ヨシ原の面積は、むかし(今から40～50年前)と比較すると約半分ほどになっています。

河口部(0～9km)

調査年度	面積 (ha)
S40	40
S48	35
S57	25
H5	20
H8	15
H16	10
H20	10

面積は約半分に減少

※ヨシ原及びアイアン葎の面積の合計値
S40は従来調査からの積み上げ値
S48,S57は従来調査からの計測値
H5,H8,H16,H20は河川水辺の図勢調査による調査結果からの集計値

矢作川河口部のヨシ原面積の変化

昭和40年頃
平成14年

写真で見るヨシ原の変化

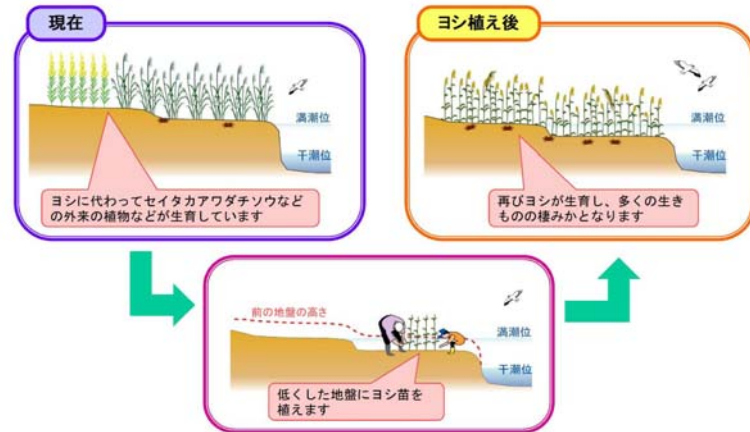
昭和48年
昭和57年
平成16年
平成20年

年代別のヨシ原分布状況

⑦

ヨシ原づくり

・ヨシ原づくりは、低くした地盤にヨシ苗を植えて、再びヨシが生育し、野鳥やカニ、小魚など、多くの水辺の生きものの棲みかとなる豊かな環境づくりを行うものです。



7

⑧

ヨシ原づくりの流れ

～ これまでの実施状況 ～

- ・地盤を低く下げて、ヨシが生育しやすい地盤高としました。
- ・低くなった地盤にヨシを植えました（ヨシ茎植え）。
- ・ポット苗を作成し、ヨシが育つまで1年間養生し、翌年に育ったヨシを植えました。



～ 今回のヨシ植え ～

- ・低く下げた地盤に、ヨシの茎植えを行います。
- ・ポット苗をつかって、茎が大きく生長するように、ポットの中で1年間育てます。



～ 今後の流れ ～

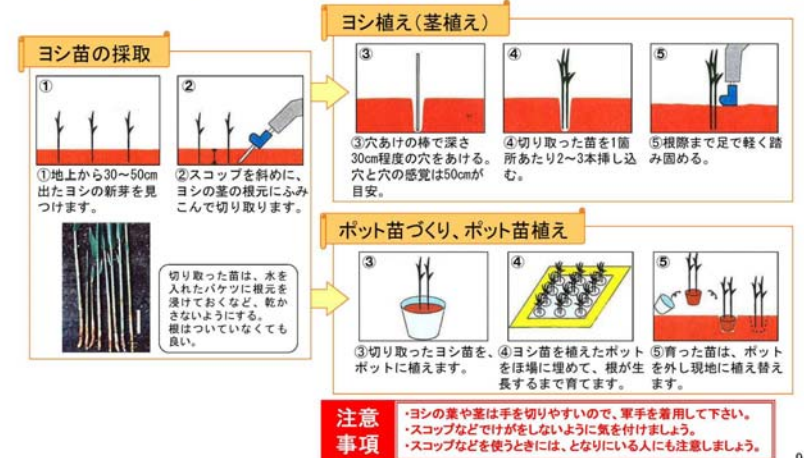
- ・ヨシ苗やポット苗の、ヨシ原づくりの効果的な方法について、現地での取り組みを通じて考えていきます。

8

⑨

ヨシ植えの方法

・今回、みなさんには「ヨシ植え（茎植え、ポット苗植え）」と、ヨシを植えるための「ポット苗づくり」の2つを行っていただきます。

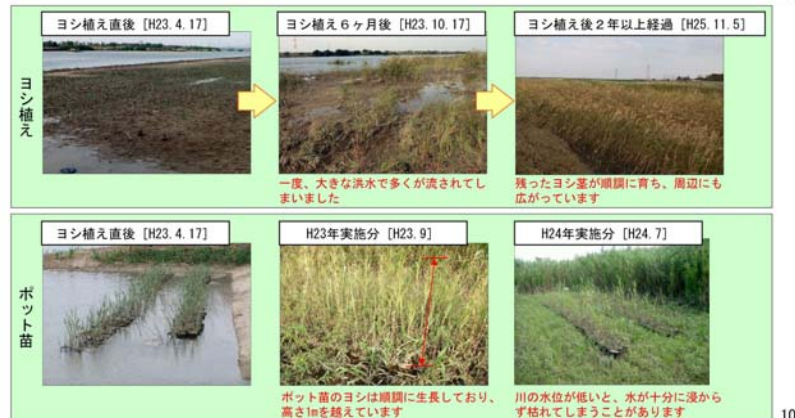


9

⑩

これまでに行ったヨシ植え状況

- ・ヨシ植え箇所では、大きな洪水により多くが流されてしまいましたが、その後、残されたところから順調にヨシが生長しました。
- ・ポット苗は、川の水位（水の高さ）によって順調に生長する時と枯れてしまう時があります。今回はこれまでより地盤の低い箇所で行い、水が浸かりやすくします。



10